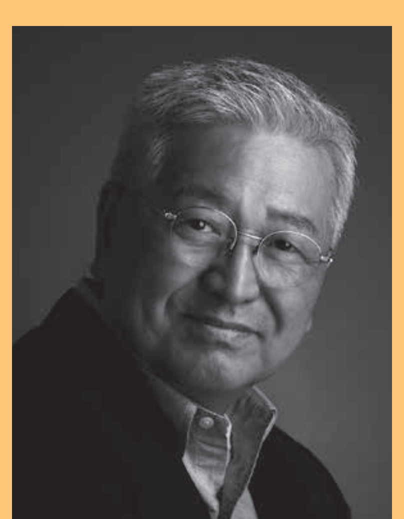
第4回 CINEX 映画塾

映画『あかね雲』『瀬戸内少年野球団』上映記念

岐阜市出身 篠田正浩監督トークショー


©Mineko Orisaku

映画監督
篠田正浩（しのだ・まさひろ）

1931年、岐阜市生まれ。県立加納高等学校を卒業後、早稲田大学に入学。53年松竹撮影所に入社し、60年『恋の片道切符』で監督デビュー。大島渚、吉田喜重らと共に、松竹ヌーベル・ヴァーグとして前衛的な作品を発表し始める。松竹を退社後は、妻の岩下志麻と共に独立プロ「表現社」を設立し自主制作を始める。2003年『スパイ・ゾルゲ』を最後に監督業を引退。主な作品に『心中天網島』（キネマ旬報ベストテン 日本映画第1位）、『はなれ瞽女おりん』（第1回日本アカデミー賞 優秀作品賞）『少年時代』（第14回日本アカデミー賞 最優秀作品賞）など。

日時 5/28（土） **全席指定**（入替制）

第1部	『あかね雲』上映	14:00〜15:50
	トークショー	16:00〜16:45
第2部	トークショー	17:15〜18:00
	『瀬戸内少年野球団』上映	18:10〜20:40

※時間は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

ゲスト 篠田正浩監督、立花珠樹

会場 岐阜CINEX 岐阜市日ノ出町2-20（柳ケ瀬・髙島屋前）

定員 各回290名 **料金** 1,500円（税込）

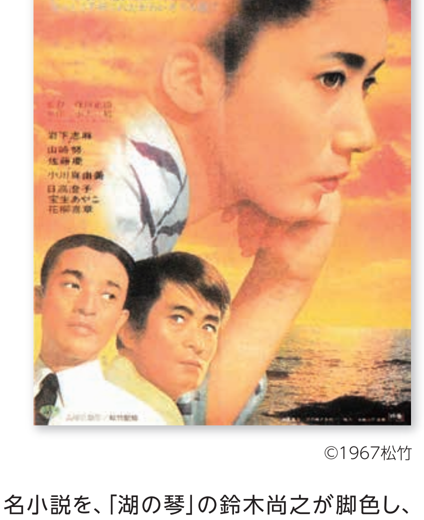
聞き手

共同通信社編集委員
立花珠樹（たちばな・たまき）

1949年、福岡県北九州市生まれ。一橋大卒。74年共同通信社に入社。ニューヨーク支局、文化部などで映画を担当する。篠田正浩さんはじめ岩下志麻さん、三國連太郎さん、若尾文子さん、香川京子さん、新藤兼人さんら映画人のロングインタビューや、名画の楽しい見方を紹介する映画コラムなどを執筆。当紙で「あのころ、映画があった―必見の邦画名作選」が連載中。著書に『若尾文子"宿命の女"なればこそ』（ワイズ出版）、『岩下志麻という人生』（共同通信社）、『新藤兼人 私の十本』（同）、『女と男の名作シネマ』（言視舎）、『「あのころ」の日本映画がみたい!』（彩流社）など。

篠田正浩監督の魅力は、時代や社会に翻弄される人間のドラマを、徹底した美へのこだわりと実験精神で描き続けてきたことだ。故郷でどんな素晴らしいお話が聞けるか、ワクワクしている。

あかね雲


©1967松竹

水上勉の同名小説を、「湖の琴」の鈴木尚之が脚色し、「処刑の島」の篠田正浩が監督した文芸もので、独立プロ表現社の第一回作品。撮影は「恋のメキシカンロック 恋と夢と冒険」の小杉正雄。

キネマ旬報社運営のWEBサービス『KINENOTE』より

岩下志麻、山崎努、佐藤慶、小川真由美 ほか
監督：篠田正浩　配給：松竹

ロイヤル劇場での上映期間
5/29（日）▶6/3（金）
※ロイヤル劇場での入場料金は500円（税込）です。

「あかね雲」（1967年）を今年2月に、東京・池袋の新文芸座で、遂に観ました。岐阜が生んだ巨匠・篠田正浩監督が松竹を離れて設立された表現社の記念すべき第一作。DVD化されていない希少な作品です。

モノクロのスクリーンに監督の従姉・篠田桃紅さんの題字が浮かび上がると、一気に奥様・岩下志麻さんの可憐な存在感に引きずり込まれます。いまの日本映画でこれだけのメロドラマを端正に造れる作品は皆無です。篠田監督の作品の中でも、傑出した魅力を放つ名作だと思いました。

気がついたら篠田監督の事務所に電話をして今回のトークショーと映画の上映をお願いしていました。ご快諾頂き、本当に嬉しく思います。
さらに、「篠田正浩さんが語る 私の十本」を岐阜新聞でも連載頂いた、共同通信社編集委員の立花珠樹さんにもトークショーの聞き手としてご参加頂けることになりました。

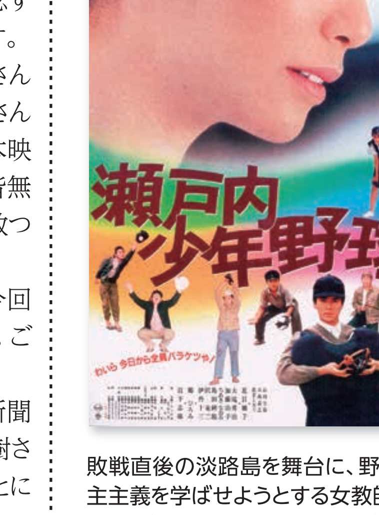
また、篠田監督からは「瀬戸内少年野球団」（1984年）の上映許諾も頂きました。女優・夏目雅子さんの遺作であり、現在、世界で活躍する俳優・渡辺謙さんのデビュー作です。名カメラマン・宮川一夫さんの見事な映像も再見できると思うと楽しみでなりません。

2本とも、貴重な35mmプリントでの上映です。

ぜひ、この機会にCINEX映画塾に足をお運びください。

岐阜新聞・映画部

瀬戸内少年野球団


阿久 悠原作■篠田正浩監督作品
瀬戸内少年野球団

敗戦直後の淡路島を舞台に、野球を通して子供たちに民主主義を学ばせようとする女教師と、スポーツに目覚めていく子供たちとの絆を描く。原作は阿久悠の同名小説で昭和54年度下半期の直木賞候補作品。脚本は「夜叉ヶ池」の田村孟、監督は「悪霊島」の篠田正浩、撮影も同作の宮川一夫がそれぞれ担当。

キネマ旬報社運営のWEBサービス『KINENOTE』より

夏目雅子、郷ひろみ、佐倉しおり、渡辺謙 ほか
監督：篠田正浩　配給：アスミック・エース　スクリーンデビュー作!

ロイヤル劇場での上映期間
6/4（土）▶10（金）
※ロイヤル劇場での入場料金は500円（税込）です。

本日より岐阜CINEX劇場窓口で座席指定券販売開始!

第3回 CINEX 映画塾

いまショートフィルムが熱い！ 岐阜県出身俳優出演作 一挙上映&トークショー

俳優
尾関伸嗣（おぜき・しんじ）

1980年、土岐市生まれ。映画やドラマ・CMなど幅広いジャンルで活躍中。映画『鼻歌』では主人公・小津を好演した。

女優
桜木梨奈（さくらぎ・りな）

1990年、岐阜市生まれ。2012年映画『耳をかく女』で主演デビュー。以降、映画を中心に活躍中。

日時 5/14（土）・15（日） **全席自由**（当日券のみ販売）

『ASO』上映	15:00〜15:30
『鼻歌』上映	15:30〜15:41
トークショー	15:45〜16:15

【登壇者】尾関伸嗣、桜木梨奈、佐藤睦（予定）

『ヴァージンロード』上映	16:30〜17:00
『俺の屍を越えてゆけ』上映	17:00〜17:40
『敏感に喜ぶ』上映	17:40〜18:16
トークショー	18:20〜19:00

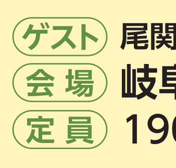
【登壇者】尾関伸嗣、桜木梨奈、佐藤睦、進藤丈広監督（予定）

※登壇者は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

ゲスト 尾関伸嗣、桜木梨奈、佐藤睦、進藤丈広監督

会場 岐阜CINEX 岐阜市日ノ出町2-20（柳ケ瀬・髙島屋前）

定員 190名 **料金** 1,200円（税込）



女優
佐藤睦（さとう・むつみ）

1990年、各務原市生まれ。映画や舞台・CMなど、幅広いジャンルで活躍中。4/20（水）から新宿・SPACE梟門で公演の舞台『美しいひと』に出演予定。

映画監督
進藤丈広（しんどう・たけひろ）

1984年生まれ、東京都出身。中学時代から映画を観るようになり、映画監督を志す。2006年、日本映画学校卒業。フリーランスの助監督として青山真治、緒方明、深川栄洋の作品に参加。今回が初の監督作品。

鼻歌

初公開! 2016年5月のカンヌ映画祭で公式上映予定!

東京で夢やぶれて、故郷に帰ってきたトランペット吹き・小津。しかし、10年ぶりの故郷は何もかもが変わり果て、帰るところはどこにもなかった。唯一、昔と変わらない佇まいを残す、銭湯に足を運ぶ小津。旧友・錦鯉との再会、そして謎の少女・節子との出会いが小津を変えていく。

48時間映画祭とは
2001年よりアメリカで開催、ジャンルや共通のセリフなどを指定するお題の発表から48時間以内に映画を制作・提出するコンペティション。『鼻歌』は2015年度よりスタートした東京大会で最優秀作品賞を含む6冠に輝いた。

尾関伸嗣、桜木梨奈、水野直、針原滋 ほか　監督：佃尚能

©2016映画「鼻歌」制作委員会

ヴァージンロード 『Father』より

ある日結婚が決まった娘・久美が戸籍を取りに行ったらそこには『養女』との記載が‥。母・英子には言えなかった理由が‥。今まで何も知らずに育った娘と実の娘と思って育てていた養父・吉本芳和。介護職をしている娘の仕事先には、実の娘に会えない男・安田がいた。実の父を知らない娘と、実の娘に会えない男と、義理の娘を育て上げた父親の他人同士の心の交流。義父と久美に流れた、今までにない空気。結婚を前に乗り越えられるのか。「家族とは‥?血のつながりとは‥?」と静かに観客に問いかける。

桜木梨奈、松田ジロウ、今吉祥子、針原滋 ほか　監督：市原直

©2013 映画「Father」制作委員会

俺の屍を越えてゆけ 『Father』より

結婚報告のため実家に婚約者・優子を伴い帰る息子・真一。母・真澄は息子を女手ひとつで愛情深く育てた。だが真一は5歳の時に家族を残して亡くなった父・一郎太の事を未だに恨んでいる。父の愛を知らずに育った息子と幽霊となり現れる父。なぜ?今?目的は?…真一と幽霊の親父との奇妙な親子ケンカが始まった。「父の愛はどうやったら子供に伝わるのだろう?」コメディとアクションを交えた独特の構成で観客を魅了する。

尾関伸嗣、水野直、黒田福美、植田ゆう希 ほか　監督：杉山嘉一

©2013 映画「Father」制作委員会

ASO

汚染がすすみ、人類も残りわずかになった終末世界。生き残った人類のひとり、タツはロボットのケイとともになんとか生き延びていた。放浪の末、生命のオアシス「ASO」にたどり着く。そこには自然の中でたくましく生きる娘ツイメがいた。浮遊する謎の岩に導かれ、生活を共にする中で距離を縮めていく3人だったが…

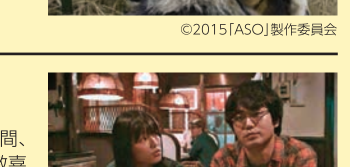
内村遥、佐藤睦、湯川佳小里、のりを（熊本県住みます芸人/もっこすファイヤー）、たく（熊本県住みます芸人/もっこすファイヤー）、村上純（しずる）　監督：岩永洋

©2015「ASO」製作委員会

敏感に喜ぶ

敏喜の前に理想の女性リナが現れる。清楚なリナに心奪われる敏喜。唯一のバイト仲間、栞里からは「あれはロクな女じゃない」とアドバイスを受けるも、聞く耳を持たない。敏喜はリナとの接触に成功するが、彼女はおじさんたちと会って小遣いを稼いでいたり、アルコール中毒であることが分かった。ところが、敏喜はそんなリナを幸薄なヒロインとしてますます崇拝していく。そして、リナと一緒に断酒会に参加することに…。

川村亮介、坂田梨香子、佐藤睦 ほか　監督：進藤丈広



いずれの作品も5/14（土）、15（日）限定上映です。

岐阜新聞創刊135年企画

岐阜新聞映画部

映画みんと倶楽部 4月の活動

入学、就職、転勤…。新しい環境に期待や不安を感じる人もいると思います。そんな時は、ぜひ映画館に足を運んでみてください。ちょっとした勇気をもらえたり、明日のヒントを見つけられるような、そんな映画があなたを待ってますよ。

【協賛】キリンビール株式会社　大和証券 Daiwa Securities
【協力】キネマ旬報社　【企画・制作】岐阜新聞社広告局

岐阜新聞・映画部 公式SNSで情報更新中!

1 ディーン、君がいた瞬間（とき）

20世紀伝説のスター、ジェームズ・ディーン。24歳でこの世を去った死の直前の知られざる物語。

POINT ジェームズ・ディーンファンの方、絶対観るべし。

4/2（土）▼15（金）

1955年、アメリカ。マグナム・フォトに所属する、野心溢れる若手写真家デニス・ストックはもっと世界を驚嘆させる写真を撮らなければと焦っていた。無名の新人俳優ジェームズ・ディーンとパーティで出会ったストックは、彼がスターになることを確信し、LIFE誌に掲載するための密着撮影を持ち掛ける。ディーンを追いかけ、LA、NY、そして彼の故郷のインディアナまで旅するストック。初めは心が通じ合わなかった二人だが、次第に互いの才能に刺激されていく。そして彼らの運命だけでなく時代まで変える写真が、思わぬ形で誕生するのだが――。

デイン・デハーン、ロバート・パティンソン、ジョエル・エドガートン、ベン・キングスレー ほか
監督：アントン・コービン　配給：ギャガ
Photo Credit:Caitlin Cronenberg, ©See-Saw Films

カナダ ドイツ オーストラリア

2 サウルの息子

POINT ホロコーストの真実をハンガリー人の目線で描いた驚異の作品！第68回カンヌ国際映画祭グランプリ、第88回アカデミー賞外国語映画賞受賞作。

息子を正しく弔いたい…
最期まで〈人間〉としての
尊厳を貫き通そうとした
男の感動の二日間!!

4/2（土）▶15（金）

1944年10月、アウシュヴィッツ=ビルケナウ収容所。サウルは、ハンガリー系のユダヤ人で、ゾンダーコマンドとして働いている。ゾンダーコマンドとは、ナチスが選抜した、同胞であるユダヤ人の死体処理に従事する特殊部隊のことである。彼らはそこで生き延びるためには、人間としての感情を押し殺すしか術が無い。ある日、サウルは、ガス室で生き残った息子とおぼしき少年を発見する。少年はサウルの目の前ですぐさま殺されてしまうのだが、サウルはなんとかラビ（ユダヤ教の聖職者）を捜し出し、ユダヤ教の教義にのっとって手厚く埋葬してやろうと、収容所内を奔走する。そんな中、ゾンダーコマンド達の間には収容所脱走計画が秘密裏に進んでいた…。

ルーリグ・ゲーザ、モルナール・レヴェンテ、ユルス・レチン、トッド・シャルモン ほか
監督・脚本：ネメシュ・ラースロー　配給：ファインフィルムズ　配給協力・宣伝：ミモザフィルムズ
©2015 Laokoon Filmgroup

ハンガリー

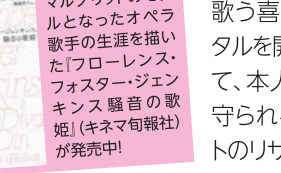
3 偉大なるマルグリット

マダムの歌声には本人だけ知らない＜秘密＞があった…"伝説の音痴"と呼ばれた実在の歌姫から生まれた、愛と情熱の人生オペラ!

POINT 映画の新境地!音痴なソプラノ歌手の運命に学ぶこと多し。

4/9（土）▼22（金）

1920年、フランス。新聞記者のボーモンは、郊外にある邸宅で開かれたサロン音楽会に参加していた。主役のマルグリット夫人は壊滅的な音痴で、"夜の女王のアリア"を聞いたボーモンは唖然とする。しかし、貴族たちは礼儀にのっとり拍手喝采を贈る。野心家のボーモンはマルグリットに近づくため、翌朝の新聞で大絶賛の評を寄せる。やがて、マルグリットはボーモンから、パリで開く音楽会に出演しないかと誘われる。その後、マルグリットは本物の観客の前で歌う喜びに目覚め、パリでリサイタルを開くと決意したのだ。果たして、本人だけが知らない"秘密"は守られるのか?そして、マルグリットのリサイタルの行方は――?



マルグリットのモデルとなったオペラ歌手の生涯を描いた『フローレンス・フォスター・ジェンキンス 騒音の歌姫』（キネマ旬報社）が発売中!

カトリーヌ・フロ、アンドレ・マルコン、シルヴァン・デュエード ほか
監督・脚本：グザヴィエ・ジャノリ　配給：キノフィルムズ
©2015 - FIDELITE FILMS - FRANCE 3 CINÉMA - SIRENA FILM -SCOPE PICTURES - JOUROR CINÉMA - CN5 PRODUCTIONS - GABRIEL INC.

フランス

4 これが私の人生設計

4/16（土）▼29（金・祝）

POINT 華々しく活躍する女性建築家は、自分の人生設計もうまく描けるのか!?仕事に、恋に頑張る全ての女性に観て欲しい作品!

新しい自分を探して故郷ローマへ。
超前向き建築女子の人生リノベーション計画!

建築家として世界各国で華々しいキャリアを積んできたセレーナは、ふと自分を見つめ直し「新たなステップ」を踏み出そうと故郷のローマに帰ってきた。しかし、イタリアの建築業界は男性中心の社会で、ろくな仕事にも就けず貯金も底をつく。しかたなくレストランでウエイトレスとして働き出すと、超イケメンのオーナー、フランチェスコが何かと優しくて、ついつい彼に恋してしまう。しかし、クラブで男たちに囲まれて超絶に踊り狂うフランチェスコを見て"ゲイ"だと気付き、あえなく失恋。結局、2人は恋愛ではなく友情で結ばれるのだった。そんな時、公営住宅のリフォーム建築案の公募を知ったセレーナは、男性のフリをして応募し、自分はアシスタントだと偽って面接に臨む。すると企画が採用されてしまい、困ったセレーナはゲイ友のフランチェスコに身代わりを頼むが…。

パオラ・コルテッレージ、ラウル・ボヴァ ほか
監督：リッカルド・ミラーニ　配給：シンカ
©2014 italian international film s.r.l

イタリア

5 母よ、

4/23（土）▶5/6（金）

POINT イタリアの名匠ナンニ・モレッティの新作。フランスの映画雑誌「カイエ・デュ・シネマ誌」2015年ベスト1映画です。

仕事に生きてきた映画監督のマルゲリータは母が余命わずかと知り、貴重な家族との時間を過ごそうとするが――

マルゲリータ・ブイ、ジョン・タトゥーロ ほか
監督：ナンニ・モレッティ　配給：キノフィルムズ
©Sacher Film . Fandango . Le Pacte . ARTE France Cinéma 2015

映画監督のマルゲリータは恋人とは別れたばかりで、離婚した夫との娘は反抗期の真っただ中、新作映画の撮影は思うように進まない。しかし、何と言っても一番心配なのは、兄のジョヴァンニと共に世話している入院中の母アーダのことだった。医師から母の病状は重いと説明されると、ジョヴァンニは静かに受け入れるが、マルゲリータは混乱してしまう。そんな中、アメリカから到着した主演俳優のバリーが撮影に加わるが、気性が激しく自己主張が強いという共通点を持つ監督と主役は、現場で何かと言い争うようになる。重い気持ちを抱えたまま病室へ戻ったマルゲリータは、今度はたったの数歩も歩けない母を怒鳴りつけ、母の胸で泣きじゃくってしまう。やがて、母が余命わずかだと宣告されたマルゲリータ。心を落ち着け、選んだ道とは――。

イタリア フランス

6 最高の花婿

POINT フランスで1300万人を動員した大ヒット作。笑って、笑って、ほっこりできるあっという間の97分。

4人の娘たちの結婚相手は、みんな外国人!?毎日が異文化バトルの家族に、愛と平和は訪れるのか?

4/30（土）▼5/13（金）

フランスのロワール地方に暮らすヴェルヌイユ夫妻には、他人には相談できない悩みがあった。3人の娘たちが次々とアラブ人、ユダヤ人、中国人と結婚、様々な宗教儀式から食事のルールまで、異文化への驚きと気遣いに疲れ果てていた。そんな時、最後の希望だった末娘が、カトリック教徒の男性と婚約! しかし、大喜びの夫妻の前に現れたのはコートジボワール出身の黒人青年だった。しかも、フランス人嫌いの彼の父親が大反対。果たして、色とりどりの家族に愛と平和は訪れるのか――?

クリスチャン・クラヴィエ、シャンタル・ロビー ほか
監督：フィリップ・ドゥ・ショーヴロン　配給・宣伝：セテラ・インターナショナル
©2013 LES FILMS DU 24 – TF1 DROITS AUDIOVISUELS – TF1 FILMS PRODUCTION

フランス

映画みんと倶楽部 限定上映作品 入場料金	大人	大学生	シニア	高校・中学・小人	サービスデー
	(1,800円のところ)	(1,500円のところ)	(1,100円のところ)	(1,000円のところ)	●レディースデー（毎週水曜・女性のみ） ●ファーストデー（毎月1日） ●エブリデイ・ナイトサービス（毎日夕方18時以降） (1,100円のところ)
	1,500円	1,300円	900円	800円	900円

上映作品に関するお問い合わせ　**岐阜CINEX　TEL 058-264-7151**　岐阜市日ノ出町2-20（柳ケ瀬・髙島屋前）